

# 令和3年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和3年6月【書面開催】

2 会場 ー

3 出席委員

氏名：

佐野 朗子

塚 美枝

平戸 明彦

岡明 秀忠

三好 かすみ

土野 顕一郎

篠崎 孝子

田邊 克彦

4 内容

- (1) 令和3年学校評価報告書（目標設定）
- (2) 横浜清陵高等学校 グランドデザイン
- (3) 本校の取組について

〈各委員より〉

(1) 令和3年度学校評価報告書（目標設定）について

- ・目標は数値化することによって達成度が把握しやすくなる。それにより、計画も具体的に立案しやすく、結果を評価しやすくなる。例えば、学力向上指標や大学合格実績指標、学校説明会参加者数や中学校訪問回数、生徒指導件数、部活動加入率、ホームページアクセス数、スタディサプリ利用数など。コロナ禍の学習環境維持などにも努めているので、付記してもよいと思う。
- ・コロナ禍の状況においては地域との協働は難しい点もあるかとは思いますが、行事が行える、参加できる状況になるとよい。学習については、自主的に課題を見つけて進路に合わせて教科の選択を適切にできるよう指導いただきたい。
- ・緊急事態宣言の時の対応として、ICTを活用したオンライン授業等の対策を取組内容として、今年度は必ず記載をしておく必要がある。また、今後の取組み内容も記載する必要がある。

## (2) 横浜清陵高等学校 グランドデザインについて

- ・「めざす生徒像…社会の変化に主体的に対応し生き抜くことができる人」私たち保育現場でも、子どもたちが成長した際に、自ら考え行動し、変化に対応できる人になって欲しいと思い接していることと、同じであると改めて感じた。
- ・学力の向上を図る取組の中に、「主体的・対話的で深い学び」とあるが、もう1つ上の枠組みにした方がよいと思う。

## (3) 本校の取組について

- ・学習支援グループについて  
年間予定…色々な情報が詰まっている。年次毎に示した方がわかりやすいと思う。

## (4) その他、本校の教育活動についてのご意見・ご質問

- ・「主体的・対話的で深い学び」が取組の具体的な方策としてあるが、とても大事なことだと思った。未来を担う子どもたちが学びを意義あるものにして卒業されるよう祈っている。
- ・保育園との合同避難訓練、コロナが収束したらまたお願いしたい。
- ・学校としてのポテンシャルは非常に高いものがある。もっと部活動や地域貢献活動などをマスメディアへアピールする仕掛けも欲しい。また、SNSやHPを通して活動を露出することも生徒のモチベーションアップによいと思う。
- ・コロナ禍で、2019年度まで実施できていた活動ができていない。そのような、制限された状況の中で、できないとするのではなく、何ができたのか、具体的な報告があると委員にはわかりやすい。次回は、そのような努力の跡がみたい。
- ・昨年度末に、登校したものの何をするのか先生もわかっていない日があったと子どもから聞いている。生徒を不安にさせないよう確実な連絡をお願いしたい。保護者宛てのメール配信が、昨年度初めよりも少ないと思う。提出物がある場合など、期日を促してもらえると助かる。
- ・コロナ禍で色々と制約は多いかと思う。その中で、清陵の特色だと私は思っているが、キャリア教育と学力向上の充実に向けて、引き続き取組んでいくことを期待している。

以上